



「挨拶」から始まる豊かな「かかわり」 校長 鈴木 優介

5月のある朝のことです。本校の正門前には、いつも子供たちの安全を見守ってくださる交通擁護さんがいらっやいます。毎朝、私は挨拶をしてから横断歩道を渡っているのですが、その日はしばらく立ち止まってお話をする時間がありました。その場には、かわいいワンちゃんをお散歩している地域の方、そして、そのワンちゃんを小学生の時から可愛がっている本校の卒業生もいました。私たちが話をしていると、「おはようございます！」と、何人もの谷戸二小の子供たちが元気な挨拶をして、横断歩道を渡っていきました。時間にして2分程度でしたが、交通擁護さん、地域の方、卒業生、そして本校の子供たちと過ごしたこの朝の時間は、誰かが意図的に設定したものではありません。毎朝挨拶を交わす中で、いつの間にか「かかわり」が生まれ、その輪が広がったものだと考えます。私自身、この朝のひとつときから、爽やかな気持ちとたくさんの元気をもらいました。

5年生の授業を参観した時のことです。道徳の授業で、先生が「挨拶」について話をしていました。「挨拶」の「挨」には「心を開く」、「拶」には「迫る、近づく」というような意味があります。つまり、「挨拶」には、「心を開いて相手に近づく」という意味があるわけです。確かに、どのような場面であっても、人と挨拶を交わすと、その人との心の距離が近くなるように感じます。この経験は、大人だけではなく、子供たちにも共通しているものでしょう。「挨拶をすると、人を笑顔にできる。」「挨拶をすると、周りの雰囲気明るくできる。」という子供たちの振り返りの言葉が、そのことを力強く物語っていました。

5月の中旬から、谷戸第二小学校では「あいさつ運動」が始まりました。本校のあいさつ運動は、期間限定のものではありません。年間を通して、なかよし班ごとに継続して取り組んでいきます。異学年交流の一環でもあります。現在は3年1組と4年1組の子供たちが順番に担当しているところです。今後も子供たちが順番に正門に立って挨拶当番を経験し、クラスからクラスへと「あいさつのバトン」をつないでいきます。本校の学校経営方針の柱は、『かかわり』を重視した教育活動の充実です。その実現の鍵となるのは、間違いなく日々の「挨拶」です。本校では、粘り強く実直に、「挨拶」の指導に力を入れて取り組んでまいります。

今月の行事予定（6月）

1	木	安全指導 耳鼻科検診(全学年) 総合ゲストティーチャー(4年)	16	金	谷戸二子どもまつりPR動画 ※下校時間が少し早まります
2	金	水道キャラバン(4年)	17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	朝会 音楽鑑賞教室(1~4年)
5	月	朝会 家庭学習週間始 委員会活動	20	火	谷戸二子どもまつり
6	火	読書 体力テスト(3~6年) プール準備(5年)	21	水	がん教育(6年) 5時間授業
7	水	体力テスト(1, 2年) 引き渡し訓練(5時間目)	22	木	歯科検診(1~3年) レビュータイム 子ども条例出張授業(6年) 社会科ゲストティーチャー(4年)
8	木	下校後オンラインドリル(2・3・4・6年)	23	金	開校記念日 PTA集金日
9	金	家庭学習週間終 読書週間終 教育実習終	24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	長縄週間始 クラブ活動
12	月	水泳指導始 クラブ活動	27	火	社会科見学(6年) 総合ゲストティーチャー(3年)
13	火	読書 タブレット学習調査(4年) 総合ゲストチャー(4年) 下校後オンラインドリル(5年)	28	水	放送委員会集会 再引き落とし日 方面別下校(13:15頃より順次下校)
14	水		29	木	4時間授業 (6年1組研究授業5時間)
15	木	歯科検診(4~6年) 教材費引き落とし日 ※下校時間が少し早まります	30	金	保護者会1年 長縄週間終 定期健康診断終